

平成30年6月27日  
石川県立看護大学

## JICA日系研修事業の実施について

県立看護大学は、国際協力機構（JICA）北陸支部の委託により、首記の事業を次のとおり実施します。本事業は、平成19年度から毎年本学と羽咋市社会福祉協議会が共同で実施しており、今年で12年目となります。

## 1 研修の趣旨

パラグアイをはじめとする南米では、日系移住者の高齢化が進み、日本人会の高齢者福祉ボランティア達がデイサービス等の取り組みを継続して実施し、高齢者福祉の大きな役割を担っている。しかし、当該日本人会幹部の高齢者福祉に対する理解は十分とは言えない状況である。そのため、日本人会幹部向けの視察型の研修を実施することで高齢化福祉に対する理解を深めてもらう。

2 研修員 2名 ※今回を含め、これまでの12年間で計32名を受け入れ。

氏 名	出 身 地	所 属（職業）
佐藤 満	パラグアイ （イタプア県ピラポ市）	ピラポ日本人会 事務局長
荒楨 正身	パラグアイ 〔アスンシオン首都圏〕 アスンシオン市	アスンシオン日本人会 兼パラグアイ日本人会連合会 事務局長

3 受入期間 6月29日（金）～7月9日（月）

4 研修内容 高齢化社会、高齢者福祉、ケアシステムをキーワードとした関連施設の視察と講義を取り入れたプログラムとし、高齢者福祉制度や日本の文化、ケアシステムなどを講義で学びつつ、地域の社会福祉施設などを視察し、その実際について学ぶ。

5 その他 次のとおり開講式を執り行います。

【日時】 平成30年6月29日（金）11時10分～11時40分

【場所】 石川県立看護大学 地域ケア総合センター研修室  
かほく市学園台1丁目1番地

【次第】 開講あいさつ（学長 石垣 和子）  
羽咋市社会福祉協議会あいさつ（会長 岩城 和男）  
JICA北陸支部あいさつ（研修班長 藤井 智）  
研修員代表あいさつ（ピラポ日本人会 事務局長 佐藤 満）

石川県立看護大学（事務局長 出村 邦夫）  
TEL 076-281-8300（代）